

1. 広報啓発活動

- 令和5年3月 ・防災研修会を開催。
各自治会の防災力向上を目的に、自主防災組織を対象とした研修会を開催。災害対応運営ゲームを通して災害発生時に地域でどう動くのかについて、カードゲームによる模擬体験を実施。



-
- 9月 ・親子防災キャンプ、防災講座
大規模災害が起きたらどうしたらいいか、大人と子供で一緒に考え体験する。
- 10月 ・住民の防災意識と流域治水への理解をたかめるため、役場ロビーにおいて、流域治水関係のポスターの展示を行う。
- 2月 ・自主防災組織での防災訓練
・防災フェア（自衛隊による炊き出し・消防署による展示）

2. 内水対策

- ・道路改良工事と併せて排水整備による内水対策を実施する。（道路冠水区間の排水断面を大きくし、勾配を確保することで排水能力の向上を図る）

3. 貯留浸透対策

- ・農業用ため池である女ヶ堰において、非かんがい期に洪水調整機能の強化が図れるよう、地元用水組合協議し水位調整に関するマニュアルを作成した。
今後は町内にあるその他のため池においても、洪水調整機能が発揮できるような取り組みを推進していきたい。

4. 避難誘導・水害リスク情報周知

- ・防災アプリを活用して避難経路の確認やエリア情報を取得できるなど、災害時には有効な情報収集手段となることから、引き続き防災アプリの普及に努める。